



1、2_分列行進や通常点検に臨む団員。町民の安全安心を守るため、組織力を強化し、防災力を高めました

地域を守る決意新たに 町消防団秋季検閲

町消防団の秋季検閲が10月23日、役場駐車場で行われ、消防団員と女性防火クラブ員ら約200人が参加しました。

今回は、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、操法訓練を自粛し、観閲や分列行進、通常点検などを行い、地域の皆さんが見守る中、日ごろの成果を披露しました。

続く式典では、町消

防団長表彰として、消防活動に貢献した団員に対し、団長から表彰が行われました。併せて、令和4年春の叙勲や消防庁長官表彰、福島県消防表彰、各消防協会定例表彰が披露されました。受賞者代表として、女性消防隊の高橋香葉子隊員が総代謝辞を述べ、参加団員は、町民の信頼に応えられるよう決意を新たにしました。

火の用心を啓発 町消防団町内防災パレード

秋の全国火災予防運動町内パレードが11月13日、町全域で行われました。消防車両5台が出勤し、消防団や女性消防隊、女性防火クラブから、約30人が参加しました。

消防車両は役場を出発し、町内をくまなく巡回。女性消防隊が「火災の発

生しやすい時季を迎えます。火を使う際は十分注意し、火災予防に努めましょう」など呼びかけました。また、女性防火クラブの協力のもと、JR桑折駅や町内スーパードなどで、火災予防の啓発チラシや消防団員募集案内などを配布しました。



▶町内に火の用心を呼びかけるため、役場を出発する消防車両

地域の交通安全推進に尽力 交通安全町民大会

桑折町・国見町交通安全町民大会が11月18日、役場で行われ、地域の交通安全推進に尽力された皆さんや団体を表彰しました。

当大会は、桑折町と国見町の交通安全関係機関や団体が互いに連携し合い、誰もが正しい交通

ルールやマナーを身につけ、悲惨な事故をなくしていけるよう、3年ぶりに行われました。

今年は、個人8人と16団体が、各種表彰を受賞。今後も、安全安心なまちづくりを推進していくため、交通安全意識の向上を図りました。

「歴史文化エリアのあり方」を 町に提言

歴史文化エリアあり方検討委員会は、旧伊達郡役所周辺の拠点整備に向けた構想について、方向性や妥当性を検証するとともに、施設に望まれる機能・形態に関して検討してきました。

このたび、委員会の提言がまとまり、11月16日

に町へ提言書が提出されました。

※提言書は、町ホームページ(左記QRコード)に掲載しています。



「献上桃の郷」を全国へPR 町広告付き年賀はがき大好評

町特産の桃がデザインされた広告付き年賀はがきの販売が11月1日から始まり、

発売に先立ち、記念品贈呈式が10月31日、役場で行われました。日本郵便株式会社の高島貞邦東北支社主幹地区統括局長と高橋町長らが出席し、

広告付き年賀はがきのデザインを披露しました。

広告付き年賀はがきの価格は、通常の年賀はがきより5円安く、1枚58円で販売。桑折町や福島市、伊達市、国見町、川俣町など、近隣8市町村の郵便局で販売されています。



▶高島統括局長(写真右)から記念品を受け取る高橋町長

こおり地産洋食店がオープン 空き店舗出店支援事業補助金

町の賑わい創出と地域経済の活性化を目的とした、「桑折町空き店舗出店支援事業補助金」を活用した飲食店が12月12日にオープンします。

同補助金を活用し出店したのは「こおり地産洋食店メルバ」。オーナーの南澤学さんは「魅力的な食材が多く、町の皆さんの人柄も良く、子育て支援も充実しているため、桑折町

で出店することを決めました。地元食材を利用した料理やデザート、ワインがお勧めです。町に溶け込み、愛される店を目指します。この補助金を多くの人に利用してもらい、一緒に町を盛り上げていきたいです」と話しました。

町では、引き続き、空き店舗を活用し、新たに新店を希望する人を支援していきます。



▲福島市から移住したオーナーの南澤さん。店舗住所は桑折町字堰合 42-1

◆桑折町空き店舗出店支援事業補助金

【対象者】 空き店舗などを購入・賃借して営業を行う者

対象経費	補助額
改修費	総支出額1/2以内(限度額50万)
購入費(土地・建物)	総支出額1/2以内(限度額60万)
賃借料(最大12か月分)	1か月分の3/4(限度額5万)

詳しくは、産業振興課 商工振興係 (☎ 582-2126) まで